




事業活動実績報告書

施設名	東江幼稚園
教育理念	「人と関わる力」「しなやかに動かせるからだ」「自然から学ぶ体験」を育てる
事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	自然・緑豊かな園庭での虫はかせ活動
2 実施期間	令和 5年 4月 17日 ～ 令和 5年 11月 17日

3 取組概要	(取組日) 令和5年 4月 17日 ～ 令和 年 月 日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
		①蝶の良く来る樹木で待ってみよう ②虫網の使い方を知る	
	(取組日) 令和5年5月8日 ～ 令和 年 月 日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
		①二ホン赤ガエルの観察を通して、明日からの田んぼに期待を持つ。田んぼの自然を知る ②虫取りや園庭の果樹を味わい、園庭の自然に親しむ	
(取組日) 令和5年 6月 14日 ～ 令和 年 月 日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること		
	①水辺の生き物の観察を通して田んぼの自然を知る。触れてみる ②園庭で昆虫を探してみる。解説してもらい園庭の自然に親しむ		
(取組日) 令和5年 7月 14日 ～ 令和 年 月 日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること		
	①夏の園庭の生き物に親しむ。触れてみる。		

3 取組概要	(取組日) 令和5年 9月 11日 ~ 令和 年 月 日												
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ----- ・初秋の園庭の生き物に親しむ。触れてみる。	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの											
	4. 今日見られた虫たち <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">①ナミアゲハ(♀産卵)</td> <td style="width: 33%;">⑤シオカラトンボ(♂)</td> <td style="width: 33%;">⑨セグロアシナガバチ</td> </tr> <tr> <td>②アオスジアゲハ</td> <td>⑥ウスバキトンボ(♀産卵)</td> <td>⑩アオドウガネ(幼虫)</td> </tr> <tr> <td>③ヤマトシジミ</td> <td>⑦アジアイトトンボ(♀)</td> <td>⑪クロヤマアリ</td> </tr> <tr> <td>④ギンヤンマ(♂♀タデ)</td> <td>⑧ホソヒラタアブ</td> <td>⑫ニホンカナヘビ</td> </tr> </table>		①ナミアゲハ(♀産卵)	⑤シオカラトンボ(♂)	⑨セグロアシナガバチ	②アオスジアゲハ	⑥ウスバキトンボ(♀産卵)	⑩アオドウガネ(幼虫)	③ヤマトシジミ	⑦アジアイトトンボ(♀)	⑪クロヤマアリ	④ギンヤンマ(♂♀タデ)	⑧ホソヒラタアブ
	①ナミアゲハ(♀産卵)	⑤シオカラトンボ(♂)	⑨セグロアシナガバチ										
	②アオスジアゲハ	⑥ウスバキトンボ(♀産卵)	⑩アオドウガネ(幼虫)										
	③ヤマトシジミ	⑦アジアイトトンボ(♀)	⑪クロヤマアリ										
④ギンヤンマ(♂♀タデ)	⑧ホソヒラタアブ	⑫ニホンカナヘビ											
(取組日) 令和 5年 10月 16日 ~ 令和 年 月 日													
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ----- ・秋の園庭の生き物に親しむ。触れてみる。													
(取組日) 令和 5年 11月 17日 ~ 令和 年 月 日													
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ----- ・園庭とは違う生き物に触れ合う。親しむ。名前を知る。													
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日													
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること -----	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの												
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日													
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること -----	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの												
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日													
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること -----	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの												

効果検証報告書

施設名	東江幼稚園
教育理念	「人と関わる力」「しなやかに動かせるからだ」「自然から学ぶ体験」を育てる

事業の区分(5領域)	健康 ・ 人間関係 環境 ・ 言葉 ・ 表現
------------	-------------------------------

1 事業名	自然・緑豊かな園庭での虫はかせ活動
2 事業概要	自然環境豊かな当園の園庭に、虫博士を招いて子どもたちと園庭の虫、生き物を探し、個体名を知り、生態を知り、特徴を知り、触れたり見たりして観察する。それらの経験を通じて自然の大切さ面白さを学ぶ。

計画時	3 実施体制	<p>取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児120名に対して、広い自然豊かな園庭(1140㎡)が当園にはある。 ・園庭には果樹9種類を含めて、15種以上の様々な樹木や多くの草花がある緑豊かな環境である。園庭の土は成田から山砂を搬入して、凸凹で水遊び泥遊びができる状態になっている。水遊びをしていると、トンボやチョウチョなどがすぐに飛んでくる様子が見られる。蟻だけで10種類以上生息する豊かな環境がある。 ・生き物、自然に詳しい専門家(葛飾自然観察グループ・メジロの会会員)が月に1~2回来園して、園児に指導することができる。子どもたちは虫博士がいないときでも、豊かな自然の中で自分で進んで虫と関わる事ができる。
	事業後	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <p>3についての効果・検証</p> <p>広い園庭に、樹木や草花があり豊かな環境で、昆虫、カエル、ヤモリ、など様々な生き物と出会えた。改めて、「虫博士」という機会を持つことで、身近な自然に注目する機会となり、「虫博士」の日以外でも、虫探しをする、ちびっこ虫博士が誕生した。自然に親しむとても良い機会となった。</p> <p>雨天時には虫探しをしてもほとんど見つからないため、事前に捕まえておいたものを観察するなど、雨天に備えた準備は大変だった。</p>

計画時	4 事業のねらい	<p>遠くの自然より、足下の自然を知る。自然環境豊かな園庭に、虫博士を招いて、園庭という身近なところにも多くの生き物、植物が生きていることを知り、親しみ、興味を持ち、知りたくなり、守りたくなる。自然環境に興味関心を持つようになって欲しい。そしてして興味関心を持ったことを学んでいくことの楽しさを知って欲しい。</p>
	事業後	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <p>4についての効果・検証</p> <p>身近な自然に触れる、改めて注目する良い機会となった。「虫博士」が虫の名前や、生態、などについて教えてくれることも、子どもたちが興味を増していくことにつながった。</p>

計画時	5 取組の内容	<p>計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等</p> <p>(4月から11月を中心に)月1~2回程度、「虫博士」として来園して、子どもたちと園庭を散策し昆虫を採取、観察する。</p> <p>5月12日には、シオカラトンボ、モンシロチョウ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、セ、ポシジョウカイ、トビイロケアリ、クロヤマアリ、等の昆虫を見つけた。園児にとっては毎日過ごす園庭であるので、虫博士の来ているその時限りではなく毎日継続して昆虫を探したり触れたりすることが出来る。</p>
	事業後	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <p>5についての効果・検証</p> <p>R5年度は全部で7回「虫博士」の日をおこなった。4~11月まで(8月を除いて)毎月行ったことで、虫博士のいない日にも、継続して虫を探したり、飼育しようとする意欲が出ていた。</p>

計画時	6 環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭に虫網と虫かごを持ちあつまり、昆虫採集をおこなう。採集した物はすぐその場で、虫博士に名前や特徴を教えてもらい、子どもたち全員で情報共有をする。 ・雨天時や虫が少ない時期などは、昆虫図鑑を見たり、植物を見たり、事前に野山で採集してきた、生き物(シュレーゲル青蛙、アカハライモリなど)をみて、専門家から特徴や飼育方法生態について説明を受ける。
	事業後	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <p>6についての効果・検証</p> <p>計画通りにできた。ただし、天候、気候によって虫の採取数、出現数は大きく違う。雨天時にはほぼ見つけられないので、事前準備が必要である。虫博士(講師)の負担が大きい。</p>
計画時	7 期待される効果 児童の姿	<p>取組を通じて期待される児童の姿や効果等</p> <hr/> <p>月1回の虫博士訪問日をきっかけとして、日々昆虫などの生き物を見つけ捕獲することで、自然への関心をたかめまた、自然環境への関心を高めることで生物多様性の保全や生態系の持続可能な管理に将来的につながっていく。SDGs目標15の陸生生態系の保全、回復、持続可能な利用につなげていく。</p>
	事業後	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <p>7についての効果・検証</p> <p>自然への関心をたかめた子が何人もいた。また、その子がちびっこ虫博士として周りの子に良い影響を与えてくれて、昆虫、自然に興味を持つ子が増えた。生物多様性の保全や生態系の持続可能な管理に将来的につながっていく。SDGs目標15の陸生生態系の保全、回復、持続可能な利用につながる一つのアプローチとなった。</p>
計画時	8 効果検証 総括	<p>事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて</p> <hr/> <p>元職員で自然観察グループなどに所属している専門家、また近隣在住の日本蛾研所属の専門家が、園児が普段過ごしている園庭で、昆虫採集をしてその生態や特徴を子どもたちに伝えてくれる。普段の園庭での活動なので、外部の虫博士が来ない日には、園児が「むしはかせ」として活動することにつながり、昆虫や自然への興味関心がつきることなく深められている。</p> <p>4の実施体制にも記したが、当園の園庭は園児に対して基準の3倍の広さがあり、運動場と言うよりも多くの木々、草花が植わっていて自然豊かな森のような環境である。そのため園児達の生活の身近なところに昆虫などの生物が多く住んでいる。アズマヒキガエルやクサガメが園庭内に生息していて自然に繁殖しているなど、自然環境が豊かである。</p>
	事業後	